



担当委員：殿岡 裕樹)。合わせて、論文1報、研究ノート1報、事例研究2報を掲載しています。

**【学術誌委員会からのお願い】**

「産学連携学」は、特集記事と投稿論文等から成り立っています。特集記事はその時々で重要と思われるテーマを学術誌委員会で設定し、同テーマに関係の深い専門家に寄稿を依頼しています。テーマの設定は学術誌委員会での検討によりますが、会員からのリクエストも受け付けています。

もし希望するテーマがあれば、学術誌委員会までお寄せください。

投稿論文等は査読付きの区分（論文、研究ノート、事例研究）と査読なしの区分（事例報告、政策紹介、解説、書評、調査報告など）があります。研究成果を発表する場として、有用な情報を受け取る場として、引き続き当学会誌をご活用ください。

査読は投稿された論文の分野に近い専門家が行うため、厳しい評価が返ってくるケースも多いですが、「産学連携学」の発展に向けた研さんの場としてぜひ挑戦を続けていただければ幸いです。

また合わせて、会員の皆様におかれましては、学術誌委員会から査読の依頼があった際には、ぜひご助力を賜りたくあらためてお願い申し上げます。

（学術誌委員長 殿岡 裕樹）

---

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、産学連携に関する情報をお流しいたします。会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、産学連携学会事務局（j-sangaku@j-sip.org）までご連絡ください。バックナンバー：[http://www.j-sip.org/mail\\_news.php](http://www.j-sip.org/mail_news.php)